

第4学年1組 図画工作科学習指導案

平成27年1月29日(木)第5校時

児童数 11名
指導者 飯田隆夫
場所 図工室

- 1 題材名 ぎゅうぎゅうにつめこむと【4学年】
A表現(2) ア、イ、ウ
B鑑賞(1) ア、イ

2 題材について

(1)児童の実態

本学級の児童は、事前のアンケートの結果10人が図工が好きであり、1人がどちらかという
と図工が嫌いである。好きな理由としては「アイデアが浮かぶから・道具が上手に使えるから」、
嫌いな理由としては、「道具が上手に使えないから」をあげている。児童は4年生で「木々をみ
つめて」や「未来の星宮小」など絵に表す活動を通して、形や色、材料や方法について学習して
きている。それらの絵に表すことが苦手だと感じている児童が「ギョギョコロコロ」や「願いの
種から」などの造形的な表現では、材料を自ら集め、道具を使って切ったり、材料を工夫して組
み合わせたりしながらイメージを広げていた。そうした一方で、自分の思いをどのように表現し
たらよいかわからなかったり、技術が伴わなかったりして自分で表現したいものがつくれず戸惑
う児童もいる。

(2)題材について

本題材は、形や色、方法や材料について知り、造形的なものの見方や考え方を養うことをね
らいとしている。ここでは、どんなものに、それぞれの「自分マーク」をつめ込むと面白いかを
想像したり、入れるものを決めたら「自分マーク」をぎゅうぎゅうにつめ込むようにしたりして
かいていく。「自分マーク」の形を自由に変形(デフォルメ)したり、表現に合わせて色を変えたり
して、工夫して表現していく題材である。

尚、自分マークについては、1年生の題材「ともだちをつくろう!」の中でふ"じぶんマーク"
をかいて、友達とマークの交換をした経験がある。そのことを生かして、事前に「自分マーク」
を自由にかけるようにしておく。

(3)本題材を指導するに当たって

指導にあたっては、プレ題材を用意することで、題材のもつねらいである形や色、方法や材料
についてよく理解し、造形的なものの見方や考え方を養うようにしていく。「ぎゅうぎゅう」と
いうイメージを、数だけでなく形の変形・向きや大小から視覚的にとらえさせる。そうするため
に、具体物で堅い物や柔らかい物を実際に入れ物に詰め込む体験を取り入れていく。

また、事前のアンケートの結果から自分の作品について、その意図やよさ・工夫等を積極的に
他者に伝える自己表現に対して低い意識がうかがえる。そのため、他者とのできばえの比較でな
く、形や大小そして色の使い方等の個々のよさに目を向けさせ、「自分マーク」をかいた作品の
意図を積極的に友達に伝えることを通じて、表現に対して自信を持てるようにしていきたい。

3 研究主題との関わり

研究主題 「感性を働かせ、自ら学び、伝え合う子の育成」

副題 図画工作における児童の思考力・判断力・表現力を育む指導方法の工夫

仮説1 「導入」の工夫や「展開」において豊富な材料・技法を体験させることにより、児童は感性を働かせ、自ら学ぶことができるであろう。

- 手立て
- ①教科書を効果的に活用して、課題をわかりやすくおさえられるように工夫し、興味関心を高め、児童が活動の見通しを持てるようにする。
 - ②導入時は題材の最初の時間は15分以内、その他は5分以内とし、制作の時間を十分に確保する。
 - ③展開において「具体物を入れ物に詰め込む」体験をし、描く際のイメージ作りをさせる。
 - ④カラーペン等を用意し、早く終わった児童にはいろいろな表現を試せるようにする。

仮説2 「まとめ」及び作品提示の工夫や「展開」において個に応じた支援を行うことにより、児童は感性を働かせ伝え合う力をたかめることができるであろう。

- 手立て
- ①活動の過程で鑑賞を行うことで、試して見つけた工夫を学び合う機会を増やす。
 - ②意図的な言葉かけをすることで、児童の思いを生かす支援をする。
 - ③協力して時間内に片づけさせる。
 - ④作品提示の工夫をすることで自分もやってみようという意欲を高める。

- ※ 「4つの実践と3減運動」との関わり
- ・授業中のあいさつ、返事の励行
 - ・鑑賞での友達との認め合い

4 目標及び評価規準

(1) 目標

形や色、方法や材料について知り、造形的なものの見方や考え方を養う。

(2) 本題材における〔共通事項〕

「自分マーク」を入れ物に詰め込んだら、どんな形や色になるかを想像し、それをもとに、かく絵のイメージを持つ。

(3) 本題材における評価規準

〔◆「努力を要する」と判断される状況 (C)の児童への支援〕
※アンダーラインは〔共通事項〕に関連した内容を示す

造形への関心・意欲・態度	発想や想像の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
形を自由に変形(デフォルメ)したり、色を変えたりしてかく表現に興味や関心をもっている。	「自分マーク」と入れ物の形や用途などを関連づけて考え、楽しい「ぎゅうぎゅうづめ」の表現を思いつく。	「自分マーク」の形や色を表現に応じて自由に変形(デフォルメ)したり、色を変えたりしてかいている。	「自分マーク」と入れ物の形や用途などの関連、形の変形など、形や色を組み合わせた表現のおもしろさや楽しさなどに気づいている。
◆自分なりに自由に表現してよいことを伝え、励ます。	◆自分のイメージがつかめるようにヒントになる言葉がけをする。	◆自由に変形(デフォルメ)する。	◆「自分マーク」の形や色を組み合わせた表現のおもしろい点に目を向けさせる。

5 指導計画・評価計画(3時間扱い)

時間	学習活動	関	発	創	鑑	評価方法
1	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提案1:「自分マーク」をぎゅうぎゅうにつめこむとどんな感じになるだろう</div> ○具体物(ドングリやウレタン)を入れ物に実際に詰め込んでイメージをとらえよう。	○				関 発言・行動観察
2 ・ 3	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提案2:「自分マーク」を何につめこむとおもしろいかな。</div> ○入れ物を何種類かスケッチする <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提案3:「自分マーク」をぎゅうぎゅうにめこもう。</div> ○入れ物にデフォルメしながらぎゅうぎゅうにつめるように表現していく <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">提案4:「自分マーク」をどんな入れ物にどのようにぎゅうぎゅうにつめたのかな。</div> ○友達や自分の表し方のよさを見つけたり話し合ったりする。		○	○	○	発 行動観察・表現 創 行動観察・対話・表情 鑑 発言・対話・記述

6 本時の学習(本時 1/3時)

(1)目標

- ・「自分マーク」を入れ物にぎゅうぎゅうにかき込むことを通して、形を自由に変形したり色を変えたりしてかく表現に興味や関心をもつ。-----【関】

(2)準備

- 教師 画用紙(ハツ切り)、カラーペン、ガラス瓶(中・小)、スポンジ、どんぐり
- 児童 教科書、鉛筆

(3)展開

時間	学習活動	学習内容	○指導上の留意点(配慮・手立て) ◎評価 [共] 共通事項に係る内容
	※ 教 マークは教科書を活用する場面		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">提案: 「自分マーク」をぎゅうぎゅうにつめこむとどんな感じになるだろう。</div>		

<p>導入 7分</p>	<p>1 見通しをもつ。 【仮説1 手立て①】 2 「ぎゅうぎゅう」のイメージを話し合う。 【仮説1 手立て②】</p>		<p>○単元と本時の流れを黒板に掲示する。</p>
<p>展開 28分</p>	<p>3 プレ題材を体験する。 【仮説1 手立て③】 4 参考作品を鑑賞する。 【仮説2 手立て④】 教 5 試し書きをする。 【仮説2 手立て②】</p>	<p>○変形(デフォルメ) ・自由に形を変えてよい ・大小の大きさ ○「自分マーク」を入れ物の中にかく</p>	<p>○入れ物に堅めの物と柔らかめな物を詰め込んだ時の違いを体験させ、描く際のイメージを持てるようにする。 ○教科書の作品のよさやおもしろさ、工夫などに触れさせ、本題材への興味・関心を高めさせる。 ○児童を1カ所に集めて、作品例を提示し、変形(デフォルメ)を知らせ、関心や意欲を高め、発想や構想がふくらむようにする。 ○児童がどんなおもしろさを味わっているか一人ひとりに聞くことで、評価と支援をする。 ◎「自分マーク」の形を自由に変形したり色を変えたりして興味や関心をもって表現している。【関】[共]</p>
<p>まとめ 10分</p>	<p>6 鑑賞する。 【仮説2 手立て①】 7 片づけをする。 【仮説2 手立て③】</p>	<p>○鑑賞の観点 ・ぎゅうぎゅうな様子 ・大小の大きさ ・形の変形(デフォルメ) ・形の向き ・色の使い方</p>	<p>○互いに作品を鑑賞させ、違いやよさに気づかせる。 ◎友達のかいた作品の形や色等の違いから、そのよさや工夫に興味や関心をもって気づこうとしている。【鑑】 ○協力して手早く片付けるようにする。</p>

7 板書計画

時 計

ぎゅうぎゅうにつめこむと

「自分マーク」をぎゅうぎゅうにつめこむとどんな感じになるだろう。

みんなのマーク □ □ □ □ □ □ □ □

★計画表			ぎゅうぎゅうのイメージは?	教科書(参考作品)
1/29	1	体験と試しがきをする	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦しい ・ いっぱい ・ きゅうくつ ・ 動けない 	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px;"></div> </div> <p>○変形(デフォルメ)</p> <p>自由に形を変えてよい</p>
2/4	2	考えた入れ物に形や色を工夫してつめこむ	<p>実際に入れ物に詰め込んだら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いろいろな向きになる ・ 形が変わっている ・ 大きさが違って見える 	<p>自分のぎゅうぎゅうのポイント</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 変形 ・ 大小 ・ 形の向き </div>

8 場の設定



